



Integrating
the Healthcare
Enterprise

IHE-Japan 2021コネクタソン 実施要項

一般社団法人日本IHE協会
接続検証委員会

実施概要

- 日程：2021年10月25日（月）～29日（金）
10月24日（日）搬入、据付作業日
- 会場：東京都立産業貿易センター 台東館 7階展示場
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-6-5
浅草駅 徒歩5分（東京メトロ、都営地下鉄、TX、東武線）
- 試験募集ドメイン：
 - 放射線検査
 - 循環器
 - 臨床検査
 - 放射線治療
 - 内視鏡
 - 患者ケアデバイス
 - ITインフラストラクチャ

東京都立産業貿易センター 台東館



〒111-0033
東京都台東区花川戸 2-6-5
TEL: 03-3844-6190
<https://www.sanbo.metro.tokyo.lg.jp/taito/>



募集統合プロフィール

- 放射線検査 (Radiology)
SWF.b, PIR(V2.5), ARI, CPI ,PDI, REM, REM-NM, IRWF.b, IOCM
- 循環器
CATH, ECG, ECHO, IVI, ED-CRAD, STRESS
- 内視鏡 (Endoscopy)
EWF, ERPO, EIA
- 臨床検査 (Laboratory)
LAW, LBL, LDA, LPOCT, LTW, LTW-MB(GIR option)
- 放射線治療 (Radiation Oncology)
MMRO, BRTO
- 患者ケアデバイス (Patient Care Device)
DEC
- ITインフラストラクチャ (IT Infrastructure)
ATNA, CT, PAM, PDQ, PDQV3, PIX, PIXV3, XDS.b, XCA, PLT, SVS
XDS-I.b, XCA-I (本来は放射線検査ですがITインフラとして実施します)
PDQm (FHIR試験環境の試行運用)

コネクタソン参加費

消費税別

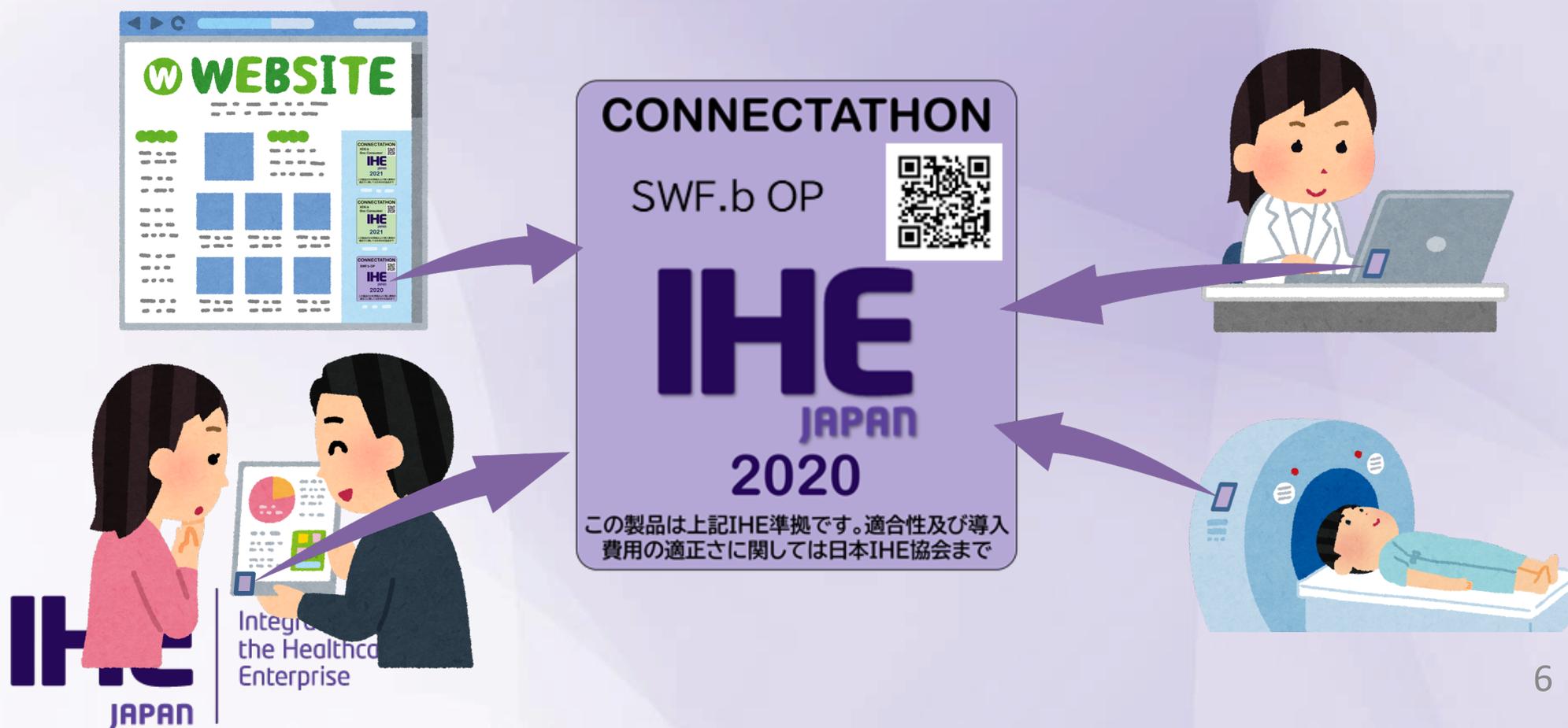
	S会員	A会員	会員外
基本参加費	450,000円	450,000円	550,000円
システム参加費 (1システムあたり)	100,000円 昨年から遡る連続参加回数に応じて下記システム数分の参加費を免除 0回:なし 1回:1システム 2,3回:2システム 4回以上:3システム	100,000円 昨年から遡る連続参加回数に応じて下記システム数分の参加費を免除 0,1回:なし 2,3回:1システム 4回以上:2システム	200,000円
追加コマ料金 (1コマあたり)	10,000円	10,000円	10,000円

- 1システムの参加費には以下が含まれます:
1コマ(机1台+椅子2脚)、電源、ネットワーク、IPアドレス、運営サポートシステム数以上に追加のコマ(机)が必要場合は、追加コマ料金をお支払いください。
- リモート接続の場合は別途10万円/サイトを本年度より申し受けます。
- 結果表にシステム名を掲載する場合は、費用を別途申し受けます。2万円/システム(予定)。(コネクタソン結果が出てからお申し込みください)。

コネクタソンシールを製品に貼ろう！

2020年よりコネクタソン合格製品に共通シールの添付ができるようになりました。

製品紹介の商材や、PC、モニタや、ガントリー、イメージプロセッサなどの実機に添付できます。



コネクタソンシール使用許諾料

- 2020年より、IHE Connectathon シールの発売をはじめました。
- 1製品、1アクター（オプション）毎の発行から、合格を見込むアクターが多数の場合の大口でのお申し込みに対する割引制度がございます。
- コネクタソン参加費と同時に申し込み、お支払いの場合は、以下の価格でお申し込みできます。コネクタソン後に別途お申し込みの場合は、別途事務手数料が追加された価格になります。
- その年の検証アクター全てに対してシールを発行する必要はありません。必要なもののみを選択して使用することができます。

シール発行単位	会員価格（事後）	非会員価格（事後）
シールに対応する製品の1個目のアクター（オプション）	3万円 (4万円)	5万円 (6万円)
シールに対応する製品の2個目以降のアクター（オプション）につき1個毎に	1万円 (1.5万円)	2万円 (2.5万円)
製品数、アクター（オプション）数によらず1社の最大許諾料	S会員：15万円 (16万円) A会員：20万円 (22万円)	30万円 (33万円)

参加システムの要件

- 対象統合プロファイルを実装した製品もしくは製品化予定の試作品
 - 同一プログラムを実装したエミュレータ等でも可
 - 接続検証が可能であればサブシステムでも可
- アクタに要求されるトランザクションを全て実装していること
- テスト仕様に要求されるコード・マスタ、試験用データを設定しておくこと

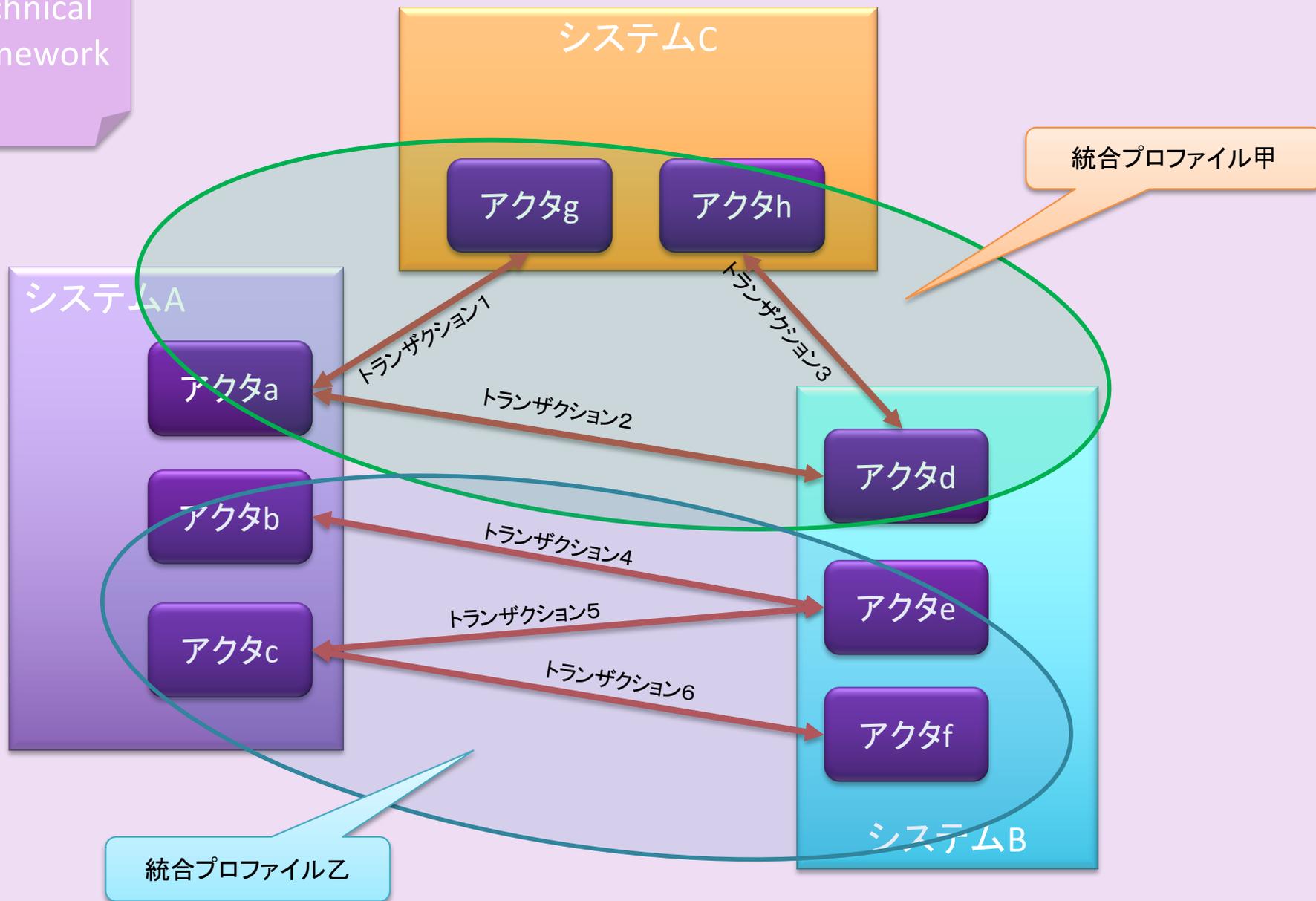
参加者の要件

- 接続検証において指摘された事項についてソフトウェア等の修正が可能な技術者が参加すること
- 接続検証に関する相手のベンダとの交渉を、自発的また友好的にできること
- 公用語は日本語としますので、必要に応じて通訳等を準備すること

コネクタソン参加の手順

- 参加システムを開発する
 - ドメイン、統合プロファイル、アクタを決める
 - トランザクションを実装する
 - 事前検証ツール等で検証を行う
- 参加申し込みを行う
 - 申請システムで会社情報・窓口、机台数・システム環境、メーリングリストを登録・申請
 - Gazelleでドメイン、統合プロファイル、アクタを登録
 - 申請システム・Gazelle にて申し込む
- 参加費を支払う
 - 申し込み内容に応じてIHE協会から請求書が送られるので、速やかに支払うこと
 - 原則として、払い戻しはしません（COVID19の影響で中止／撤退の場合は払い戻し）。
- 事前検証を実施する（一部プロファイル）
 - 参加ベンダワークショップで詳細を説明します
 - その後、配布したツールとの対向試験を実施します
 - 一部、IHE-USA等が開発したツールも使う場合があります
 - ツールが出力したログを事務局に提出します
 - 問題があれば指摘しますので、対応を行ってください
- テストシナリオを確認する
 - Gazelle にてテスト内容を確認する
 - 要求事項への対応・準備を行う
- コネクタソン当日を迎える

IHE
Technical
Framework



コネクタソン実施スケジュール

ベンダーワークショップ1	5/14	コネクタソン実施要領、手順説明、ドメイン別の説明（オンラインイベント）
コネクタソン参加申込	5/17~6/30	Web申請管理システム・Gazelleで登録を行う
ベンダーワークショップ2	7/5~9	コネクタソン実施詳細・事前検証・ドメイン別の審査基準についての説明（オンラインイベント）
Gazelle登録修正	7/10~9/上	登録したシステムの内容に変更があれば修正
事前検証	7/10~9月後半	ツールを用いた事前検証を実施、ログをGazelleへ提出（指示のあったプロファイルのみ）
IPアドレス付与・承認	10月初旬	Gazelle登録システムにIPアドレスを付与
コネクタソン当日	10/25~10/29	10/24（日）午後には機器搬入と環境設定

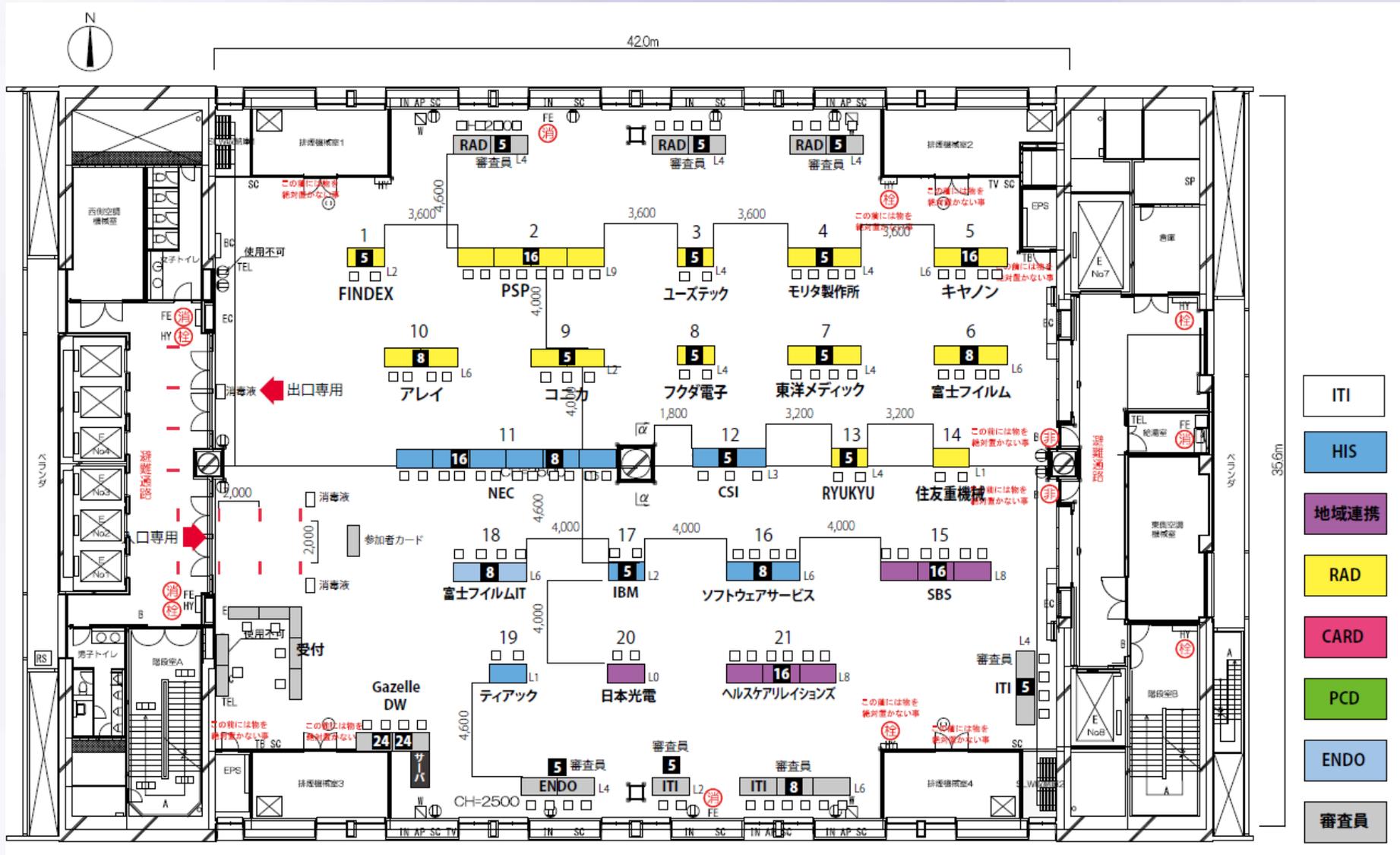
コネクタソン参加申し込み

- Web申請管理システムおよびGazelleを用いた申し込み登録
 - <https://support.ihe-j.org/authentication/login>
 - 昨年参加された会社は、アカウントが残っていますので、適宜修正して使用が可能
- 申し込み期間：5月17日から6月30日まで
- 登録内容
 - 会社情報（新規の方のみ）
 - 連絡窓口代表者情報
 - 請求書送付先情報
 - メーリングリスト登録希望者
 - 使用電力量
 - ネットワーク関係
 - 搬入・出車両
 - 設置スペース（机、椅子、床置スペース）
 - リモート接続参加
 - システム情報（Gazelleで登録）
 - システム名
 - 実装するドメイン、統合プロフィール、アクタ、オプション
- コネクタソンシールについては別途事務局より登録確認のご連絡の際に、同時申し込みの確認を申し上げます。
- 申し込み手順については、後ほど詳しく説明します

コネクタソン実施環境

- スペース
 - 1システムあたり机（1.8 x 0.9m）1台を用意
 - 不足する場合は、追加申請（有料）
- 電源
 - 100V50Hz電源を用意 200Vも対応可
 - 必要電力、コンセント口数を申請
- ネットワーク
 - 1000BASE-TのSwitching HUBを用意
 - 固定IPアドレス数、HUBのポート数を申請
 - DHCP、無線LANも用意
 - Internet 接続も可
 - Internet 経由のリモート接続での参加も可能（本年度より有料）
 - ネットワークセキュリティは各自で対策をお願いします
- その他
 - 参加札等を入り口で配布
 - 空きデスクの一時利用はできますが、仕切り等はありません。
 - 昼食は、付近のレストラン、コンビニ等をご利用ください

2020年度のデスク配置 (参考)



※参加の状況により、デスク配置については毎年変化します。

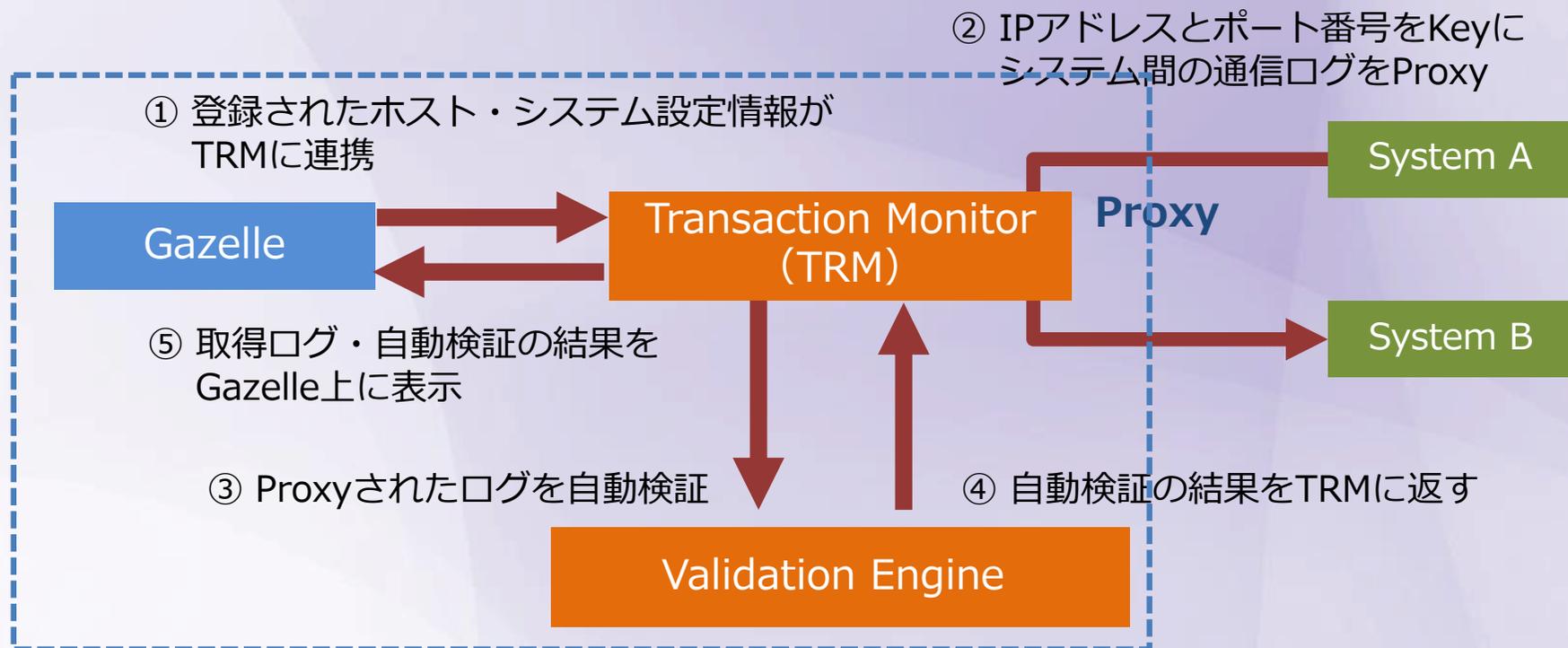
接続検証ツール環境

- Gazelle
- Transaction Monitor
- Validation Engine

クラウドへ



IHE コネクタソン
専用のプライベート
クラウドサービス
(AWS)



リモート接続環境

- 遠隔地からVPNを利用してコネクタソン会場へ接続可能に ⇒ 対象台数を増やします
- コミュニケーションツール（RocketChat）を導入します。



※VPNリモート検証参加にあたっては、VPNブリッジの用意が必要となります。
= PacketiX VPNをインストールしたブリッジマシンが必要です。
※VPNリモート参加の際は、事前の検証環境への接続確認にご参加願います。

FHIR検証環境について

- FHIRサーバを立ち上げ、ITI PDQmプロファイルの検証を募集します。
- その他、FHIR検証環境での検証ニーズがあるようでしたら、ご相談ください。



※トランザクションモニタは使いません。検証手順の詳細は ITI の審査基準書を参照してください。

※FHIRサーバは日本IHE協会にて1台準備をする予定です。

コネクタソン Week のスケジュール

	10/24 (日)	25(月)	26(火) ~27(水)	28(木)	29(金)	
8-9:00	設営 工事	準備作業＋個別接続テスト				
10:00		個別接続テスト＋審査			審査のみ	
11:00						
12:00		昼休み				
13:00					審査のみ	
14:00		搬入	個別接続テスト＋審査			審査のみ
15:00		設置 設定				搬出
16:00						
17:00	後片付け					
18:00						

原則、27日17時まで
に全く検証ができていない
場合は、28日以降の審
査は行いません



機材の搬入出

- 10月24日（日）PM 1:00～ 搬入可能です
- 自社手配車両（3t車まで）の場合は、車両証が必要ですので参加申込時に申請してください
 - 3tを超える車両は使用できません。
使用せざるを得ない場合は日本IHE協会事務局にご相談ください。
- 宅配便利用の場合の送付先は以下になります
 - 荷物は該当の机または近傍に開封しないで配布しておきます。

〒111-0033
東京都台東区花川戸 2-6-5
東京都産業貿易センター 台東館
7階展示場「IHE-J 2020 コネクタソン」
会社名を記載してください

※着荷日時は10/24 13:00以降で指定してください。
(指定日時以前は会場では荷物預かりは実施していないため)
- 搬出の際の宅急便（ヤマト運輸・着払い）については、事務局にて手配が可能です。
 - コネクタソン期間中に受付までお申し出ください。
 - 他の宅配業者への依頼は、各自行ってください。

接続検証の手順

- 接続相手のシステムを探す
 - Gazelle等で検証したいプロファイルに参加するベンダを探し、直接ベンダと検証実施を交渉する
- 相手のシステムとの接続・通信を行う
 - まずは直接接続にて問題無く通信ができることを確認する
 - 問題がある場合は、ベンダ間で協議し、解決しない場合は審査員に相談する
 - トランザクションモニタを通す接続に換え、テストシナリオに従い、全てのステップを実施する
 - シナリオおよび審査員の指示に従いエビデンスをGazelleにアップする
 - 実施ステータス「審査依頼」をGazelleに入力する
 - 順次審査員が審査を行うので、他のテストを進める
 - 審査員が「一部合格」ステータスをつけた場合、コメントの指示に従う
 - 審査員が「合格」ステータスをつけた場合、その検証は完了となる
- 必須のテストシナリオに関し、他社3システム以上と接続検証を行う
 - 相手システムの組み合わせが2社以下の場合、審査員に相談する
 - 必須シナリオに関し3システム以上との検証完了が、合格の要件

審査について

- 審査基準書（公開）に従い、下記の情報を確認することで実施
 - トランザクションモニタで取得したメッセージの検証結果
 - Gazelleにアップされたエビデンス
 - その他、システムの表示や記録情報
- 審査員
 - 日本IHE協会 各ドメインの技術委員が中心
 - 自社の審査には関係しないなど中立性を確保
 - 医療関係者等の外部審査員を公募予定
 - 医療施設勤務者が対象で、医療情報技師会等を通じ募集
- 審査結果はすみやかにGazelleに反映する
 - 異議があれば審査員まで申し出てください
- 最終的な合否判定は、コネクタソン終了後にまとめて実施する
 - 12月下旬を予定

コネクタソンの結果の扱い

- 結果の公表
 - 会社毎の合格した統合プロフィール・アクタについて、一覧表にて公表（12月下旬を予定。下記は昨年度の例）
 - <https://www.ihe-j.org/file2/connectathon-2020/IHE-J2020ConnectathonResults20210105.pdf>
 - World WideのDB (Connectathon Results) にも登録いたします
 - <http://connectathon-results.ihe.net/>
- 統合宣言書（Integration Statement）
 - 各社でシステム単位の統合宣言書を作成し公表してください
 - World WideのDB (Product Registry) にも登録を推奨します。
 - <http://product-registry.ihe.net/PR/home.seam>
- コネクタソンは IHE による製品認定ではありません。合格製品の相互運用性を保証するのはベンダ自身です。

COVID19の影響について

- ご承知の通り COVID19 の終息が見通せず、世界的に移動や集会への制限が出ております。
- コネクタソン会場については密閉では無いものの、ある程度の人々の集合、接近がございます。
- 日本IHE協会では、コネクタソン開催に向けて準備をしておりますが、開催の中止等について、今年度に限り、以下のように柔軟に対応したいと思います。
 - 開催1ヶ月前の9月上旬に、開催是非の最終判断とアナウンスをいたします。
 - 万が一中止をする場合は、振込済参加費用については返金をいたします*。

* 恐縮ながら、振り込み手数料のみ徴収いたします。

COVID19感染対策について

- 会場での開催にあたっては、参加者向けの感染防止対策マニュアルを用意いたします。

* 下図は2020年のマニュアルですが、見直しを行います。

コネクタソン 2020 COVID-19 感染防止対策

会場参加者実施マニュアル

日本 IHE 協会 接続検証委員会

基本対策

1. 参加者は毎朝検温し、会場で会場責任者に申告する。会場責任者はベンダ内の参加者全員の出欠、体温、体調を把握し、協会事務局に報告する。
検温を忘れた場合、受付に申告し、事務局にて非接触型検温計で計測してもらう。
体調に関わらず、37.5 度以上の場合は入場できない。
2. 全身倦怠感、頭痛、咳、呼吸苦、味覚・嗅覚異常などのある者は、入場できない。
3. 入場時に入口で手・指を必ず消毒する。参加初日の場合、受付で参加登録チェックをする。
4. 参加登録チェック時に、受付デスク上の参加者カードを一つ自身で取り、会場内は常時首に下げる。
参加者カードは期間中、他人への貸与を禁ずる。
5. 参加者カードを携帯せずに会場内にいた場合、退場を命じられる場合がある。
6. マスクを持参し、会場内では飛沫拡散防止のための正しい着用を常時行う。
7. 会場内では常にソーシャルディスタンスを意識し、対話する場合も含め距離 2m の確保に務める。
8. 大声は厳禁。マスクを外した状態での対話（電話や Web 会議のマイク利用時も含む）はしない。
9. コネクタソン終了後、1 週間以内に感染が判明した者は速やかに事務局に報告する。
その上で、事務局は全参加者に通報する。（各自、COCOA の利用を推奨する）

COVID19感染対策について

- 開催期間中、会場では感染対策のため、東京都の指導の元、以下の措置をとります。
 - ベンダ間は 2m 以上の間隔でのデスク配置する
 - 入場口と退場口を分け、正面の接触を回避する
 - 入退室時は消毒スプレーで手指消毒を徹底する
 - 会場内は全員マスクを適切に装着する
 - 会場内での大声は禁止。会話は最小人数で。
 - 会場内での食事を禁止（飲料のみ可）
 - 会場の窓は開けて最大限換気する（若干寒いです）
 - 全会場参加者は事前に申告してもらおう
 - 事前申告者以外の会場入場は禁止
 - 会期中は毎朝体温チェックをし、事務局に申告する

* 上記の詳細は前述の会場参加者向け対策マニュアルに記載がございます。

COVID19感染対策について





Integrating
the Healthcare
Enterprise

ご清聴ありがとうございました。

ご質問は、コネクタソン事務局まで
ihe-cnt-office2021@ihe-j.org